

## 【民法】

受験番号		氏名	
<p>次の1および2の間について、関連する判例の趣旨にてらして論述しなさい。</p> <p>Aの子Bは、Aが病臥していることに乗じ、Aの実印を無断で持ち出して、Aの代理人と称してAの所有する甲土地をXに売却した。Xは、当該売買契約に基づき所有権移転登記を完了した。</p> <p>1. その翌年、Aが死亡し、BおよびAの次女CがAを共同相続した。この場合における法律関係について論述しなさい。</p> <p>2. BがXへ甲土地を売却した後、Aが死亡する前にBが死亡し、AがBを単独相続した。この場合における法律関係について論述しなさい。</p> <p>&lt;出題意図&gt;</p> <p>本問は、無権代理と相続が交錯する場合に、権利関係をどのように解釈するかを問うものである。</p> <p>1は、無権代理人が本人を相続した例である。これについての法律関係と判例理論を述べると共に、単独相続と共同相続との相違について検討する必要がある。</p> <p>2は、本人が無権代理人を相続した例である。これについての法律関係と判例理論を述べると共に、1との相違を検討する必要がある。</p>			